

2016.12.23.Fri 上映とディスカッション

私たちはなぜ自主(制作)映画を上映するのか。

近年、新しい映画映像作品のコンペと上映イベントを連動させる企画・映画祭が全国各地で開催されている。ぴあフィルムフェスティバルのような歴史のあるものから、従来からある短編映画祭、この数年の間に「自主(制作)映画」をプログラムの中心に据える映画祭が次々に生まれ、大規模な国際映画祭も自主制作映画への目配りを怠っていない。制作者とその関係者たちで大いに盛り上がるライブのような上映会(イベント)、映画祭を渡り歩くつくり手たち、映画祭やイベントを足がかりに劇場公開にいたるつくり手たち……。

ジジュセイサクエイガ

JISHU SEISAKU EIGA

この混沌とした世界?

開される日本映画は600本を超え、自主(制作)映画は、ますます盛り上がる……? このジャンルの上映者、プログラム、ディレクターなどが集まり、上映者の視点から、「自主(制作)映画」の現状と可能性について、ディスカッションをする。

関連企画!

映画美学校 映画祭2016

12月23日[金・祝] ▶ 25日[日]

映画美学校受講生、修了生が制作した作品を、一挙上映!!

www.eigabigakkou.com/films/festival

2016年12月23日 [金・祝]

▶ 12:30— 上映Aプログラム (123分) ▶ 15:00— 上映Bプログラム (125分) ※上映終了後、入替

▶ 17:30— 19:30 ディスカッション「私たちはなぜ“自主(制作)映画”を上映するのか」

〈パネリスト〉菅原睦子(ショートピース! 仙台短篇映画祭実行委員長) / 鶴岡明史(ちば映画祭実行委員長)

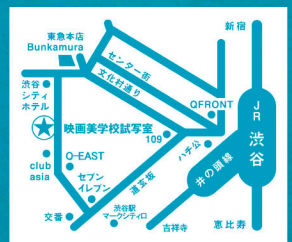
宮崎善文(松本CINEMAセレクト代表) / 直井卓俊(スポットテッドプロダクションズ代表) / 沢村敏(東京テアトル映像事業部編成部)

料金(1日券) 整理番号付前売券:500円 / 映画美学校事務局にて販売
当日券:600円

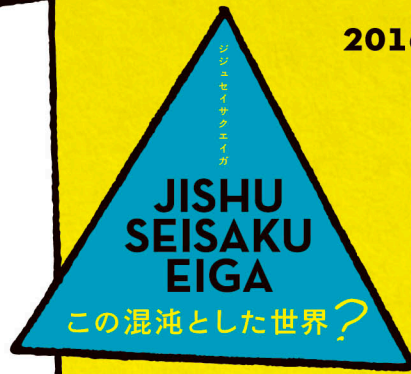
※当日券は12:00より販売。 ※Aプロ、Bプロは入替なし。12:15より整理番号順で入場。
※整理番号のない前売券は利用不可。
※上映Bプログラム終了後入替を行い、ディスカッションは17:20より整理番号順で入場。

会場 映画美学校試写室(渋谷)

渋谷駅下車、Bunkamura前交差点左折
渋谷区円山町1-5 KINOHAIUS B1F



私たちは なぜ 自主(制作) 映画を 上映する のか。



ディスカッション▶17:30—19:30

[司会]市沢真吾、四方智子(映画美学校事務局)

パネリストプロフィール

菅原睦子

ショートピース|仙台短篇映画祭実行委員長

仙台短篇映画祭は、「仙台ムービーアクトプロジェクト」を前身として、2001年にスタート。新しい映画作家の紹介に力を入れ、真利子哲也、濱口竜介、入江悠監督等の作品を逸早く取り上げてきた。近年は、公募で選ばれた作品の上映とともに、ゲストコメンテーターを招いたトークセッションにも注力している。(2013年入江悠、2014年直井卓俊、2015年林海象、2016年田中要次)菅原氏はスタート当初から実行委員会に参加、現在は実行委員長をつとめる。

鶴岡明史

ちば映画祭実行委員会

2008年にはじまったちば映画祭は、千葉県内で上映されない若手監督の作品を中心にプログラムを組んでいる。主に国内外の映画祭で上映され、受賞した自主制作映画から上映作品を選出。村松正浩、山戸結希、二宮健、杉田協士など、注目若手監督の特集上映を積極的に行う。鶴岡氏は実行委員会スタッフとして、各地の映画祭や上映会などに出向き、自主制作の情報収集などを行う。

宮崎善文

NPO松本CINEMAセレクト代表/コミュニティシネマセンター理事

地元松本の映画館で様々な形で自主上映を実施。89年より、定期的な自主上映会「松本CINEMAセレクト」を一人で運営するが、04年借りていた映画館(松本中劇)が閉館。2006年NPO法人コミュニティシネマ松本CINEMAセレクトを設立、上映活動を再開する。現在は、公共施設を借りて年館80日ぐらい上映会を開催。古典から最新の自主制作作品まで幅広く作品を渉猟し、プログラムを組む。

直井卓俊 株式会社スポッテッドプロダクションズ代表取締役/MOOSIC LAB主宰

主な配給宣伝作品に「童貞。をプロデュース」(07)「SRサイタマノラッパー」シリーズ(08-12)「フラッシュバックメモリーズ3D」(12)「自分の事ばかりで情けなくなるよ」(13)「百円の恋」(14)「At the terrace テラスにて」(16)「14の夜」(16)、企画プロデュース作品に「劇場版神聖かまってちゃん」(11)、「MOOSICLAB」(12-16)「私たちのハハハ」(15)「はらはらなのか。」(17)など。2014年より京都造形芸術大学の非常勤講師も担当している。

沢村敏 東京テアトル株式会社映像事業部編成部

95年東京テアトル入社。支配人業務を経て、2003年よりテアトル系の番組編成を行う。現在は「テアトル新宿」、「キネカ大森」、「新所沢レッツシネパーク」を担当。近年では「百円の恋」、「恋人たち」、「ディストラクション・ベイビーズ」、「オーバー・フェンス」『この世界の片隅に』等で話題を集める。また、田辺・弁慶映画祭では予選から審査を担当し、グランプリ作品を「テアトル新宿」のレイシショーに組み込むなど、新しい才能の発掘にも積極的に取り組んでいる。

上映Aプログラム▶12:30—14:33

くらげくん

監督:片岡翔 2009年|14分
第32回びあフィルムフェスティバル 準グランプリほか



反対になった電池が 光らない理由だなんて 思えなかった

原作短歌:加賀田優子/監督・脚本:杉田協士
2016年|46分|第8回ちば映画祭で特集上映



さいなら、BAD SAMURAI

監督・脚本・主演:大野大輔
2016年|61分|カナサワ映画祭2016期待の新人監督賞受賞



上映Bプログラム▶15:00—17:05

ひとまずすすめ

監督:柴田啓佑 2014|30分|田辺・弁慶映画祭4冠受賞



ひとまずすすんだ、 そのあとに

監督:柴田啓佑 2015年|18分

流星と少女

監督・脚本・編集:片岡翔 2009年|15分
東北生活文化大学高等学校 美術・デザイン科ワークショップ作品



マグネチック

監督・脚本:北原和明
2016年|60分|MOOSIC LAB 2016グランプリ

